



福岡出入国在留管理局那覇支局

入国警備官採用試験

外国人の強制退去業務等に従事する入国警備官は、全国で1676人に上ります。

国際交流の活性化の中で、世界各国から多くの人々が日本を訪れていますが、中には観光などの目的を装って入国し、犯罪に走る外国人や不法就労を行う外国人もいます。

入国警備官は、これら法律に違反する外国人に対して厳正に対処し、日本の安全と国民生活を守り社会秩序を維持するという重要な使命を担っています。また、外国人と接する機会が多いため、広範囲な法律知識のほか、高い品性と豊かな国際感覚、強い正義感、強固な意志、機敏な行動力も要求されます。

主な業務内容

- ➔ **違反調査** 入国警備官が自ら得た情報や一般の方から寄せられた情報に基づき、入管法に違反している疑いのある外国人を調査したり、必要な情報を収集します。
- ➔ **收容** 違反調査の結果、退去強制の要件に当てはまる疑いが強い場合や退去強制処分が確定した場合は、外国人の身柄を收容します。
- ➔ **摘発** 日本社会の安全や秩序を守るため、不法入国防止のためのパトロールや不法滞在者の取締を行います。
- ➔ **送還** 退去強制処分が確定した外国人を速やかにその国籍国に帰国させます。確実に日本から出国させるため、一緒に飛行機に搭乗することもあります。

採用状況

令和6年 1名
令和5年 1名
令和4年 1名

※最終合格者名簿に記載された者の中から、全国の地方出入国在留管理局又は入国者收容所入国管理センターに採用が決定します。

採用されたら

- ➔ **勤務地**
全国の出入国在留管理局、入国管理センター等を2～3年ごとに異動します。
- ➔ **研修制度**
入国警備官としての能力を身につけるため様々な研修の機会（初任科研修、中等科研修、語学委託研修等）が設けられています。
- ➔ **キャリアパス**
警守、警守長、警備士補、警備士、警備士長、警備長、警備監の7階級があり、努力次第で昇進することができます。

先輩職員からのメッセージ

私は、入国警備官が行う退去強制手続の中で主に收容及び執行業務に従事しています。

收容中の被收容者を対応する看守業務は、多国籍な人種を相手することになりますが、どの国籍にも共通するのは、挨拶から始まる対人コミュニケーション力だと感じています。

執行業務のメインの仕事は被退去強制者を送還することであり、退去強制手続の最後の砦とも言える重要な業務です。常に緊張感が必要なものとなりますが、困難な事案であればあるほど無事に送還が完了した際は、大きな充実感が得られます。

もう一つ、海に囲まれた沖縄にある那覇支局の特色でもある尖閣諸島など離島含んだ不法入国・不法上陸等の水際対策といった業務も従事することがあります。

もちろん苦しい場面もありますが、家族や仲間と一緒に乗り越えていくだけです。入管の業務に興味を持たれた方はぜひトライしてみてください！

A.S 平成30年採用（公安職）高卒程度

～勤務スケジュール（日勤勤務の例）～
（警備部門A警備官の一日）

08:30 出勤。入管法違反者の面接
10:00 入管法違反者の居宅へ調査
13:00 面接や調査に関する書類作成
16:00 日々使用している物品や武器の点検
17:15 翌日の業務予定を確認し、退庁

福岡出入国在留管理局
那覇支局 総務課総務係
〒900-0022 那覇市樋川1-15-15

☎098-832-4185

🌐 <https://www.moj.go.jp/isa/index.html>

